

1) 生徒対象のアンケート結果

○ 生徒の評価が 高かった 項目

1. わたしは学校生活の中で、他者の人権を大切にすることを心がけている。(95.9%)
2. わたしは学校の規則に従い、身だしなみを整えている。(95.5%)

● 生徒の評価が 低かった 項目

1. わたしは学校の図書館を利用している。(15.4%)
2. 私は「図書館だより」等を通じて図書館の活動について知っている。(35.3%)
3. 学校の設備は充実している。(42.5%)

2) 保護者対象のアンケート結果

○ 保護者の評価が 高かった 項目

1. 学校の教育活動において、子どもや家庭の個人情報を守られている。(95.2%)
2. 学校の部活動は盛んである。(94.4%)

● 保護者の評価が 低かった 項目

1. 学校の施設や設備は充実している。(48.2%)

3) 課題としていた項目の回答の変化

1. 悩み等についての相談を先生にすることが出来る。(生徒アンケート)

R3 52.4 % → R4 51.4 %

2. わたしは授業の予習・復習・検定の勉強等、自主学習に励んでいる。(生徒アンケート)

R3 52.8 % → R4 43.5 %

3. 教員は授業改善に努め、指導方法等の工夫に努めている。(保護者アンケート)

R3 72.1 % → R4 77.1 %

4) アンケート結果の分析と課題等

- ・ 生徒対象アンケートおよび保護者対象アンケートにおいて、評価の高い項目と評価の低い項目は、昨年度からほぼ変化がない。
- ・ 学校図書館について、昨年度同様、今年度も評価が低かったが、「図書館の利用促進に努力している」点については、昨年度よりも少々高い評価をいただいた。第2回学校評議員の会でも話題になり、年度末総括でも取り上げ、次年度に向けて内容面の検討が必要である。
- ・ 「その他 学校の取組み」では、「産業人材育成プロジェクト」における課題研究（商業科科目）において、地域人材や地域の特性を活かした、独創性あふれる取組みが展開され、高い評価をいただいた。

- ・ 依然、保健室に来室する生徒が多い。「心身の健康を保持・増進できる指導」について、昨年度よりも評価を下げている。日々の生徒の悩み等を迅速に把握できるよう、担任・生徒指導部・教育相談部との連携が必要である。

5) 今後の取組みについて

上記のような結果を受けて、今後以下のことに取り組む。

- ① 令和5年度は、4年度と比べ、新型コロナの感染予防に係る学校での対応が変化する。これまで以上に、自分の日頃の行動等に責任を持ち、健康の保持増進に留意するとともに、自律性に富んだ規則正しい生活が送れるよう、引き続き学校でも指導をおこなう。
- ② 図書館の利用については、自習室として利用しやすい環境整備をおこなうとともに、引き続き、図書館オリエンテーションの実施や、図書館だよりの発行等で、司書の協力も得ながら、図書情報の発信に努める。
- ③ 学習指導については、引き続き、スタディーサポート等の結果や小論文指導の状況から、生徒が入学してから卒業するまでの期間において、学習意欲や学習習慣がどのように変化するのかを分析する。また、具体策として、「教科担当者生徒情報交換会」を学期に最低1回は実施し、個別最適化を意図した指導は勿論、学習意欲が低下しがちな時期の適切な声掛けや、短期的な目標を持たせるような工夫をする。
- ④ ICT推進校として、紙媒体（教科書）とICTコンテンツを適切にハイブリッドし、他校の実践例を参考にし、校内での授業参観や実践交流を活発化させながら、日々授業改善をおこなっていく。
- ⑤ 生徒とのコミュニケーションを大切にして、面談習慣をはじめ、面談時間を確保する。また、スクールカウンセラーとも連携して、生徒の悩みに寄り添いながら支援を行う。
- ⑥ ホームページにおいて学校行事の様子を実施後迅速に掲載するなど、保護者の方に学校の様子を理解していただけるよう工夫する。